

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴+自学自習+小テスト受験等)×15回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養科目 主題探究型科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) タンパク質で生命を斬る				
	(英文名) Look Deep into Life through Proteins				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語)				
	坪井 敬文, 小川 敦司, 澤崎 達也, 野澤 彰, 竹田 浩之, 杉浦 美羽, 林 秀則, 高橋 宏隆, 高島 英造 (ローマ字) TSUBOI Takafumi, OGAWA Atsushi, SAWASAKI Tatsuya, NOZAWA Akira, TAKEDA Hiroyuki, SUGIURA Miwa, HAYASHI Hidenori, TAKAHASHI Hiroataka, TAKASHIMA Eizo				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部一回生以上		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1~9	
16. 曜日・時限	-		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	遺伝子, タンパク質, 遺伝子組換え, バイオ, 光合成 Gene, Protein, DNA recombination, Biotechnology, Photosynthesis				
21. 授業概要	一般的にタンパク質というと、食物等に含まれるものが知られており、人の健康を維持するために摂取していく栄養素という印象を持つでしょう。実は、タンパク質にはそれ以外にも、大きな人の生命の維持という重要な役目も担っており、このタンパク質の役割を理解すると、これまでは単なる「なぞ」であったものが、より理論的に説明できることに気づくはず。本科目は愛媛大学プロテオサイエンスセンターに所属する教員が提供する科目であり、最先端のタンパク質に関する研究に触れながら、タンパク質の力と魅力について伝えていきます。タンパク質をよりもっと身近に感じ、科学の魅力への入り口でもあります。みなさんと議論を展開できることを期待しています。				
	☑				

22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	生命現象がどのように営まれているか理解する。	<input checked="" type="checkbox"/>				
23. 授業の到達目標／学修課題	タンパク質を通して生命の仕組みが説明できる。	<input checked="" type="checkbox"/>				
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）	問題の発見・解決に取り組むための思考力を身につける。					
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】全15回分</p> <p>オリエンテーション: タンパク質はマラリアを無くす切り札（第1回分） 坪井</p> <p>①タンパク質の発現システムを操る（第2回分） 小川</p> <p>②バイオの世界を変える技術イノベーション: コムギ胚芽無細胞タンパク質合成法（第3回分） 澤崎</p> <p>③無細胞系を使って膜輸送体タンパク質をつくる（第4回・第5回分） 野澤</p> <p>④治療薬の半数は細胞膜受容体を標的とする（第6回・第7回分） 竹田</p> <p>⑤光合成のしくみと新エネルギーへの応用（第8回・第9回・第10回分） 杉浦</p> <p>⑥タンパク質の機能を制御し植物の性能をアップ（第11回・第12回） 林</p> <p>⑦ウイルスは宿主のタンパク質をハイジャックする（第13回・第14回分） 高橋</p> <p>⑧マラリアは巧みにタンパク質を操って感染する（第15回分） 高島</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>プロテオサイエンスセンターのホームページ等を参考にしてください。</p> <p><a href="http://www.pros.ehime-u.ac.jp/">http://www.pros.ehime-u.ac.jp/</a></p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
28. 成績評価の方法と基準	課題の2/3以上の提出がない場合には評価しない。	<input checked="" type="checkbox"/>				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="343 1469 1409 1570"> <tr> <td data-bbox="343 1469 568 1525">自大学学生向け</td> <td data-bbox="568 1469 1409 1525">無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1525 568 1570">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="568 1525 1409 1570">無し</td> </tr> </table>	自大学学生向け	無し	連携大学学生向け	無し	<input checked="" type="checkbox"/>
自大学学生向け	無し					
連携大学学生向け	無し					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学5名・徳島大学5名・鳴門教育大学5名・高知大学5名・愛媛大学30名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、課題提出)を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。	<input checked="" type="checkbox"/>				

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>【参照ホームページ】 愛媛大学プロテオサイエンスセンターホームページ <a href="http://www.pros.ehime-u.ac.jp/">http://www.pros.ehime-u.ac.jp/</a></p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	教職・その他( )	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴+自学自習+小テスト受験等)×8回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養科目 主題探究型科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり				
	(英文名) Involvement of people and metal production in Eurasia				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 村上 恭通				
	(ローマ字) MURAKAMI Yasuyuki				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部一回生以上		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1~9	
16. 曜日・時限	-		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	銅, 鉄, 起源, ユーラシア大陸, 考古学 Copper, Iron, Origin, Eurasia, Archeology				
21. 授業概要	今から約10000年前、西アジアにおいて自然銅が利用されるようになり、人は金属の価値に触れることとなりました。その後、鉱石を製錬して銅を得るまでに数千年、さらに鉄を製錬するまでに数千年と、長い時間をかけて古代人は金属を生活の中に取り入れるようになりました。その過程で金属の技術、価値は大きく変わっていきます。また西アジアからユーラシア草原地帯を經由して北アジアやわれわれが生活する東アジアに金属が到達するまで、その技術や価値はまた大きく変わりました。金属の技術や利用法は地域の文化や環境に応じて多様に展開したのです。発掘によって地中から現れたものを対象としながら、金属の技術や利用のあり方を通じて、ユーラシア大陸のダイナミックな歴史をみなさんと味わうことができればと思います。				☑
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	考古学的な資料をもとに金属の技術や価値の移り変わりを理解する。				☑

23. 授業の到達目標／学修課題	金属が古代社会の発展に与えた影響や金属の価値が地域によって多様であったことを説明できる。			<input checked="" type="checkbox"/>	
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）	多角的な視点を培うのに必要な幅広い基礎知識（基礎知識）				
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<b>【授業計画】</b> ①人間と金属の出会い ②鉱石製錬のはじまり ③鉄の起源 ④鉄製品の普及 ⑤東アジアにおける金属文化の幕開け—中国を中心に— ⑥中国の青銅器文化と鉄器文化 ⑦青銅と鉄—朝鮮半島から日本へ— ⑧技術復元から金属生産を考える			<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	東アジア古代鉄文化研究センターのホームページ ( <a href="http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/">http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/</a> ) や愛媛大学ミュージアムの展示等を参考にしてください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	課題の2/3以上の提出がない場合には評価しない。			<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学学生向け	無し			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限：あり 香川大学5名・徳島大学5名・鳴門教育大学5名・高知大学5名・愛媛大学30名			<input checked="" type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
32. 教科書（購入の必要のある図書）	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>
ISBN			著者名		
出版社			出版年		
金額			備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	<p>【参照ホームページ】  愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターホームページ  <a href="http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/">http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/</a></p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ  <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	教職・その他( )	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴+自学自習+小テスト受験等)×15回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養科目 主題探究型科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 大学生のための『安全・安心』の基礎講座 (英文名) Basic lecture of "Security & Relief " for university students				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語)田中 寿郎 (ローマ字) TANAKA Toshiro				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部一回生以上		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1~9	
16. 曜日・時限	-		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	感染症、ヒューマンファクター、リスクホメオスタシス、リスクマネジメント、法令順守 Infectious disease, Human factor, Risk homeostasis theory, Risk management, observance of law ordinance				
21. 授業概要	安心とはどういう状態であろうか。少し深く考えると安心できる要素は人によって異なることが判る。この講義では、全ての人が安心して暮らせるために、その根本となる安全と健康について、個人としてできることや組織として管理する時の注意などについて、全15回を通して基礎的な知識を習得することを目標とする。				☑
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	充実した大学生活を送るために重要な、安心・安全な生活とは何か、安心な暮らし・身近な危険・安全とリスクについて考え、実生活の中で危機に対応していくための基本知識を習得する。				☑
23. 授業の到達目標／学修課題	安全な暮らしに関する説明ができる 身近な危険や有害物等について説明ができる 安全とリスクについて、具体的な防止策について挙げる事ができる				☑

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>第1回:安心に暮らすためにできること、山本 仁(大阪大学)</p> <p>第2回:身近にある危険・有害物(I)、辻 佳子(東京大学)</p> <p>第3回:身近にある危険(感染症)(II)、三浦 竜一(東京大学)</p> <p>第4回:人体への影響、大久保靖司(東京大学)</p> <p>第5回:安全とリスクについて、土橋 律(東京大学)</p> <p>第6回:ヒューマンエラーを防ごう、中尾 政之(東京大学)</p> <p>第7回:個人にできること(I)倫理・不正防止、片倉 啓雄(関西大学)</p> <p>第8回:個人にできること(II)危険感受性、大島 義人(東京大学)</p> <p>第9回:組織としての対応(I)CSR、石田 英之(大阪大学)</p> <p>第10回:組織としての対応(II)安全管理、錦見 端(名古屋大学)</p> <p>第11回:組織としての対応(III)リスクアセスメント、山本 仁(大阪大学)</p> <p>第12回:組織としての対応(IV)健康管理、黒澤 一(東北大学)</p> <p>第13回:コンプライアンス、村田 静昭(名古屋大学)</p> <p>第14回:危機に際してどう行動するか、梅田 幸治(大阪大学)</p> <p>第15回:リスク管理と危機管理、梅田 幸治(大阪大学)</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	授業内容と併せて自分の生活について確認し、危険やリスク等がないかを考え、大きなトラブルに巻き込まれないような危機管理について考えるようにしてください。		☑
28. 成績評価の方法と基準	課題は全て実施する事。1回でも実施していない場合には、不可あるいは0点の評価とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、課題提出)を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>本e-Learningコンテンツは、大学生のための『安全・安心』の基礎講座(一般社団法人 国立大学協会 <a href="http://www.janu.jp/">http://www.janu.jp/</a>)の資料を用いて制作しています。</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他( )	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考	特にありません				<input type="checkbox"/>	

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴+自学自習+小テスト受験等)×8回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養科目 主題探究型科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産 (英文名) Intelligent greenhouse plant production				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 仁科 弘重, 高山 弘太郎 (ローマ字) NISHINA Hiroshige, TAKAYAMA Kotaro				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部一回生以上		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1~9	
16. 曜日・時限	-		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	気温, 暖房, 施設生産, 光合成, 植物診断ロボット temperature, heating, horticulture, photosynthesis, plant diagnosis robot				
21. 授業概要	太陽光植物工場は、太陽光エネルギーを最大限に活用して大規模な農作物生産を行う施設であり、気温・湿度・CO <sub>2</sub> ・光強度などの様々な環境要因を制御することで4定(定時・定量・定品質・定価格)の農作物生産を実現します。本講義では、太陽光植物工場における知能的農作物生産を支えるスピーキング・プラント・アプローチ技術(植物診断に基づいた環境制御)をはじめ、環境制御の基礎となる気温・湿度および暖房、植物の最も重要な環境応答である光合成と蒸散について学びます。				☑
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	太陽光植物工場における農作物生産の概略とそれを支える先端的技术について理解する。				☑

23. 授業の到達目標 ／学修課題	食料生産システムとしての太陽光植物工場の位置づけを理解し、農作物生産の将来像を明確化する。		<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① オリエンテーション:植物工場の概略(高山)</li> <li>② 光合成と蒸散の基本(高山)</li> <li>③ 生体情報に基づいた環境制御(高山)</li> <li>④ 温室環境制御1(仁科)</li> <li>⑤ 温室環境制御2(仁科)</li> <li>⑥ 温室環境制御3(仁科)</li> <li>⑦ 温室環境制御4(仁科)</li> <li>⑧ 温室環境制御5(仁科)</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>愛媛大学植物工場研究センターのホームページ等を参考にしてください。</p> <p><a href="http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/">http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/</a></p>		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	課題の2/3以上の提出がない場合には評価しない。		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学5名・徳島大学5名・鳴門教育大学5名・高知大学5名・愛媛大学30名</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、課題提出)を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>【参照ホームページ】</p> <p>愛媛大学植物工場研究センターのホームページ  <a href="http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/">http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/</a></p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ  <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他( )	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2017		2. 開講学期	後学期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	共通教育		4. 授業形態／授業種別	(e-Learning視聴+自学自習+小テスト受験等)×8回	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養科目 主題探究型科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 飛行機はなぜ飛ぶのか (英文名) Principles of aircraft flight				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 岩本幸治 (ローマ字) IWAMOTO Yukiharu				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部一回生以上		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1~9	
16. 曜日・時限	-		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	飛行機, 飛行機の歴史, 運動量理論, 安定性 Aircraft, Aviation history, Momentum theory, Stability				
21. 授業概要	まず、世界と日本で飛行機がどのように生まれたかを説明して先人の想像力や洞察力、工夫を見習う。その後、揚力や抗力といった飛行機にかかる力がどのように発生するのかを学び、有人飛行では不可欠な安定性について考える。これらの知識を取り入れて、紙飛行機を作って飛ばしてみることを計画している。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	飛行機を例題として、自然物や人工物の仕組みに興味を持ち、理論的に理解できる力を身につけてほしい。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	飛行機の各部品の役割を述べるようになる。力学の初歩が分かるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<b>【授業計画】</b> ①世界の飛行機の歴史1 ②世界の飛行機の歴史2 ③日本の飛行機の歴史1 ④日本の飛行機の歴史2 ⑤飛行機にかかる力 ⑥翼理論 ⑦エンジン、二宮翔会の紹介 ⑧安定性、紙飛行機			<input checked="" type="checkbox"/>		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	必要に応じてMoodle上でお知らせします。			<input checked="" type="checkbox"/>		
28. 成績評価の方法と基準	課題の2/3以上の提出がない場合には評価しない。			<input checked="" type="checkbox"/>		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学学生向け	無し				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学6名・徳島大学6名・鳴門教育大学6名・高知大学6名・愛媛大学30名			<input checked="" type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、課題提出)を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。			<input checked="" type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	鳥と飛行機どこがちがうかー飛行の科学入門			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4794209184	著者名	ヘンク・テネケス	
		出版社	草思社	出版年	1999	
		金額	2052	備考	絶版ですが、古本として出回っています。	
	参考書2	書名	紙ヒコーキで知る飛行の原理―身近に学ぶ航空力学			
		I S B N	978-4061327337	著者名	小林昭夫	
		出版社	講談社	出版年	1988	
		金額	929	備考		
	参考書3	書名	Theory of Wing Sections: Including a Summary of Airfoil Data			
		I S B N	978-0486605869	著者名	Ira H. Abbott, A. E. von Doenhoff	
		出版社	Dover Publications	出版年	1959	
		金額	2511	備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	<p>【参照ホームページ】 愛媛大学航空力学研究会二宮翔会のホームページ <a href="http://ninomiyashokai.com/">http://ninomiyashokai.com/</a></p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他( )		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodleのフォーラムを利用する。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	